

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	地域の明日を考える講演会	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

1. 事業目的

本事業は、北陸地域の社会資本整備や地域づくりに関連する新たな視点や考え方、地域住民にとって参考となる情報を広く提供し、北陸地域の社会資本整備や地域づくり活動に関わる人々の交流と連携を促進する場として、さまざまなネットワークの形成・強化・拡大を推進し、影響力を持つ内外のオピニオンリーダー層との情報交換・連携強化の場をつくることによって、地域の活力の増進や活性化に寄与するものである。

2. 事業実施体制

主催：一般社団法人 北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

現在起こっている異常気象の原因や今後の予測などをはじめとして、気象から見た日本と北陸の災害対策の考え方や、災害に負けない地域づくりに向けて、助言・提言できる専門家による講演会を実施した。

日時：平成30年11月21日(水) 14:00～15:30

場所：新潟東映ホテル

プログラム：

講演「多発する気象災害～備えはできていますか?～」

講師：井田 寛子(気象予報士・キャスター)

参加者：100名

* 建設コンサルタント協会認定CPDプログラム

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

講演では、近年の異常気象の現状と避難に対する住民意識の低さ、避難情報に対するメディアの役割などに触れ、災害に強い地域のあり方について、ハード・ソフトの観点から、北陸・新潟の今後の戦略や提言をいただいた。参加者のアンケートから8割以上が講演は「有意義」と評価し、開催意義が確認できた。

地域の明日を考える講演会 参加無料

多発する気象災害 ～備えはできていますか?～

これまでに例を見ない猛暑や豪雨、連発する台風などが、日本全国に干ばつや洪水、土砂災害などの災害をもたらしています。地球温暖化の激甚化による土砂災害、地球規模の気象変化が指摘され、その影響は一時的なものではなく、今後も継続的に続き、それに伴い災害の危険性も高まるという見方があります。

気象予報士として活躍する井田さんに、現在起こっている異常気象の原因や今後の予測などをはじめとして、気象から見た日本と北陸の災害対策の考え方や、災害に負けない地域づくりに向けて、これからの北陸・新潟の取組について提言していただきます。

井田 寛子(いだ ひろこ) 気象予報士・キャスター
独立系気象予報士、気象大学第一学部自然環境学部気象学、気象学専攻卒業。民間企業を経て、NHK静岡放送局キャスターを務める。2009年に気象予報士の資格を取得。気象予報士(防災キャスター)としての活動も積極的。気象予報士としての活動は、防災気象予報士として、気象予報士(防災キャスター)として、気象予報士(防災キャスター)としての活動も積極的。気象予報士としての活動は、防災気象予報士として、気象予報士(防災キャスター)としての活動も積極的。気象予報士としての活動は、防災気象予報士として、気象予報士(防災キャスター)としての活動も積極的。

■日時 平成30年11月21日(水)
14:00～15:30

■会場 新潟東映ホテル
2F「朱鷺の間」
(新潟市中央区) 新潟市中央区

■募集 150名(先着)
※平成30年11月16日(金)締切日
※定員に達し、次年度事業を繰りかえさせていただきます。

講演をご希望の方は、裏面の申込書にご記入のうえ、お申し込みください。

主催：(一社)北陸地域づくり協会

告知チラシ

